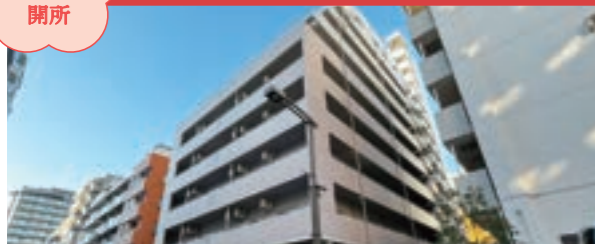


# 新規開所施設をご紹介します！

2023年  
11月1日  
開所

## ケアホームズ両国



所在地	東京都墨田区両国2-5-13
アクセス	JR総武線『両国』徒歩8分
事業内容	特別養護老人ホーム(50名)

2025年  
3月  
開所予定

## (仮称)特別養護老人ホーム せたがや代田



所在地	東京都世田谷区代田1-21
アクセス	小田急線『世田谷代田』徒歩10分
事業内容	地域密着型特養(29名) 看護小規模多機能型居宅介護 (登録29名、通い18名、宿泊9名)

2025年  
9月  
開所予定

## (仮称)優っくり村 板橋四葉



所在地	東京都板橋区四葉1-16
アクセス	東武東上線『下赤塚』徒歩16分
事業内容	認知症対応型共同生活介護(18名) 看護小規模多機能型居宅介護 (登録29名、通い18名、宿泊9名)

2023年  
11月1日  
開所

## 新宿区立戸山シニア活動館



所在地	東京都新宿区 戸山2-27-2
アクセス	東京メトロ 副都心線『西早稲田』 徒歩7分
事業内容	介護予防事業 趣味教養事業 社会参加活動支援 など

2024年  
4月1日  
開所

## 高齢者あんしん相談センター かすみがおか



所在地	埼玉県ふじみ野市 霧が丘1-5-1
アクセス	東武東上線 『上福岡』徒歩4分
事業内容	地域包括支援センター

2024年  
4月1日  
開所

## 品川区立北品川高齢者多世代交流支援施設 「北品川ゆうゆうプラザ」



所在地	東京都品川区 北品川1-29-12
アクセス	京急本線 『北品川』徒歩7分
事業内容	介護予防事業 趣味教養事業 社会参加活動支援 など

2024年  
4月1日  
開所

## 荒川区立東日暮里 在宅高齢者 通所サービスセンター



所在地	東京都荒川区 東日暮里3-8-16
アクセス	JR常磐線 『三河島』徒歩8分
事業内容	通所介護(40名) 認知症対応型 通所介護(12名)

フォーユー新聞 2024 January -新春号外- 2024.1月発行  
TEL:03-5712-3770 FAX:03-5712-3771 https://www.foryou.or.jp/



## 情けは人の為ならず ~善き行いは、自分の為、ウェルビーイングの為~

### 社会福祉法人 奉優会 理事長 香取 寛

新年あけましておめでとうございます。昨年6月に奉優会の理事長に就任しました香取寛です。新年を迎えるにあたり、改めて皆様へ就任のご報告を申し上げます。この奉優会の理事長職に就けたことは、私にとってとても光栄なことであり、また、とても責任の重い役割を担うこととなり、大変の引き締まる思いです。就任にあたり、まずは奉優会に関係する皆様へ感謝を申し上げます。

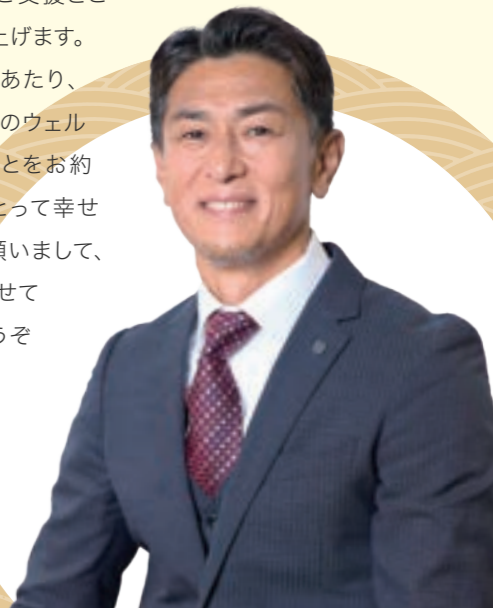
さて、近年の介護福祉業界の経営環境ですが、日に日に厳しさは増しており、特別養護老人ホームの62%が赤字で収支差率も初のマイナス2.8%へ転じた報道(2023年10月16日/日本経済新聞)等はその象徴ともなっています。しかしながら、そのような状況の中でも、当法人は今年度も引き続き好業績を上げることができています。この成果は、今まで地道に努力してきた長期的な事業規模拡大計画の成果によるものと分析しています。特に、法人内に多くの業務工程管理(BPM)チームを設置する戦略投資は、各管理システムのアジャイル管理が推進し、各事業の能力を飛躍的に成長させることができました。また、この積極的な間接部門への投資により、職員の労働環境も改善し働き方を劇的に変えることにも繋がりました。本年も引き続き、環境改善の投資と努力を続けつつ、皆様と協力しながら社会福祉の充実と地域の発展を推進して参ります。

ところで、新年の巻頭言、「情けは人の為ならず」という言葉です

が、他人を助ける行為や善き行いは、いずれ巡って自分自身にも良い影響を与えるという深い意味が込められています。私たちの行う福祉活動も、単に他者への援助に留まらず、私たち自身の心の豊かさや社会全体のウェルビーイングへと繋げていこうと、新しい社会の仕組みの中核になることが求められています。

この初心を胸に、私達の日々の善き行いが、最終的には私たち自身の心の充足につながる、その循環を大切にしながら経営をしております。そして、私たちの活動が地域社会に根差し、より多くの人々にポジティブな影響を与えることを目指します。今後も、当法人が一層の飛躍を遂げるため、皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、新年の門出にあたり、私たちの活動が社会全体のウェルビーイングに貢献することをお約束し、2024年が皆様にとって幸せ多き年となりますように願ひまして、新年のお祝いの言葉とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



問合せ先 社会福祉法人 奉優会ホームページ <https://www.foryou.or.jp/>



新卒採用はこちら



中途採用はこちら



土地活用はこちら





## 生産性向上、 ショートステイでの価値づくり

常務理事 / 施設介護事業統括本部  
山川 純一



日本の人口、特に生産年齢人口は減少が続いており、2040年にかけてその傾向がさらに大きくなることが予測されています。また、近い将来、高齢化社会のピークを迎え、介護ニーズの急増と多様化に対応する必要がある一方で、人口減少社会の到来で生産年齢の介護人材の確保が困難になります。

このような状況の中においても、介護の質を確保し、向上させていくことが、介護現場が直面することになる課題です。特にショートステイ事業などの在宅生活を継続するサービスのニーズはさらに高くなり、介護事業者はサービスの価値を向上させて、利用者ご家族が申し込みをしやすい工夫が必要となります。

こうした課題を抱えながらも、介護現場が地域における安心の担い手として役割を果たし続けるため、①介護サービスの質の維持・向上を実現するマネジメントモデルの構築、②ロボット・センサー・ICTの活用、③介護業界のイメージ改善と人材確保、に関しては、

介護業界を挙げて取り組むことの必要性が述べられています。

①については、改善活動そのものであり、介護に関する業務を「直接的なケア」と「間接的業務」に分け、各施設・事業所内の課題を抽出した上でPDCAサイクルを回していくことを示しています。②については、ロボット・センサー・ICTといったテクノロジーを活用することで介護の質を維持・向上させていくことが推進されています。特にICTの活用については、ICTを介護現場のインフラとして積極的に導入していくことが必須であります。③については、仕分けた「間接的業務」を、ロボット・センサー・ICTを活用することにより介護業界のイメージを刷新しつつ、活躍の場を創出して元気高齢者に参加してもらうなど、介護分野への多様な人材の参入促進につなげていくことが求められています。介護分野の生産性向上により、介護の質を維持・向上しつつ、急増・多様化する介護ニーズに的確に対応することが可能となります。

## 福祉の多角化多機能化で 地域の未来を切り拓く！

常務理事 / 社会福祉事業統括本部  
川口 有美子



私たち社会福祉法人は、2040年に向けて、どのような経営戦略を立てていくべきでしょうか？今後、人口減少や高齢化が進み、福祉ニーズは多様化・複雑化すると予想されます。また、コロナ禍や災害などの不測の事態にも対応できる柔軟性と強靱性が求められます。

このような環境の変化に対応するためには、多角化多機能化が今後さらに必要だと考えております。

当法人は、大阪府社会福祉協議会とその会員の社会福祉法人が行っている「大阪しあわせネットワーク事業」を参考とし、制度では対応できない様々な地域課題やニーズに対して、奉優会のスケールメリットを生かし、オール奉優会「しあわせネットワーク事業」の展開をスタートしています。

多角的な展開として、緊急的な支援が必要な生活困窮者への相談支援やフードパントリーの実施、現物給付を行っています。

また、2024年2月より世田谷区社会福祉協議会と連携し、法人後見事業をスタートする予定です。区長申し立てなどの権利擁護支援が必要な方へ継続的に法人後見事業を展開、後見人として社会福祉士などの専門職がチームとなりオール奉優会で長期的な支援を行って参ります。

多機能的な展開としては、介護の悩みを抱えている本人や家族へイベントや教室の開催をしています。また、関係機関・民生委員等へヤングケアラー支援など地域のなかで支え合う仕組みづくりの促進、普及啓発を行っています。エッセンシャルワーカーが集う場の提供、ケアマネカフェの展開など、働く女性の支援や孤立する専門職課題などネットワークの構築等も進めています。こうした取り組みにより、住民をはじめ様々な関係機関と連携する事で、地域福祉の充実と新たな価値の創造に貢献できると考えています。

## 多様性を高めグローバルな展開を目指します！

経営企画本部の大きな目標は、国外拠点の創設です。この計画の主な目的は、奉優会で活躍する外国人介護人材が母国でプロフェッショナルとしてのスキルを発揮することで母国でもキャリアを築けるよう支援することにあります。その足掛かりを築くため調査を開始いたします。

そして奉優会で経験を積んだ外国人介護人材が専門的な介護サービスやノウハウをアジア諸国に提供することにより、日本の高度で専門的なケアをアジア諸国の福祉分野に展開し福祉の発展に貢献いたします。奉優会の介護サービスのグローバルな展開を通じてアジア諸国の福祉向上に寄与することを目指していきます。

理事 / 経営企画統括本部  
田島 香代



同時に、更なる優れた外国人介護人材の採用にも注力いたします。それにより奉優会の組織力を向上させ、多様性を高めるとともにイノベーションを促進し、地域社会における高品質かつ効果的な福祉サービスの提供に貢献していきます。

経営企画本部は、多様性と共感を重視し、持続可能で有益な取組を積極的に推進して参ります。

## 縦割りから丸ごとへ、業績を上げるポジティブ管理本部活動への変革

奉優会の管理本部は、法人の事業規模拡大・社会情勢の変化・今後の持続性を見据え、総務・人事・経理・営業推進の4つの機能を複合的に連携させ、事業変革や法人の個性創出につながる提案や行動を今年度より強化しています。併せて「事務局」という呼称を「管理本部」に名称変更いたしました。これは、行政向けの業務だけでなく、法人全体に対して積極的に改善提案活動を行っていくという決意の表れです。

縦割りから丸ごとの「機能横断型の法人管理本部」となることで、新しい価値の創造、エンゲージメント、ウェルビーイングな組織となるよう改善提案活動に取り組みます。

具体的な取り組みとして、①管理本部内に部門を超えた横断的なティール型ソリューションチーム(PJ チーム)を適宜に編成し、法人

理事 / 法人管理統括本部  
平林 孝浩



管理本部によるイノベーションのプラットフォームを構築します。②社内チャットツールやオンライン会議等を活用することにより職員一人ひとりの意識改革を進めるとともに、事業部・事業所への提案や支援を推進し、新たな領域にも挑戦します。

これらの変革を積極的に推進する管理本部となり、あらゆる活動のプロセスを俊敏にアップロードし、ご利用者満足度の向上や職員の成長と働きがいの向上等、成果を出すポジティブ管理本部として貢献して参ります。

## 地域統括体制から新しい福祉の創造へ



特養事業本部長  
西 啓三

特養事業本部では、「普通に暮らせる幸せ、ふくし」と掲げ、科学的で個別性の高いケアを推進してきました。これまでの取り組みを基盤に、地域との連携を強化し、ご利用者の自立支援をさらに推進していきます。

また、今年度からは事業セグメントを超えた地域統括

体制が始まりました。これにより、各事業所間の連携が強化され、地域イベントへの参画など、地域人材の確保や地域福祉の充実につながっています。

今後も地域のセーフティネットとしての役割を果たし、重層的支援体制の構築や地域包括ケアシステムの発展に貢献して参ります。

## 一緒に創る、高齢者のための新しい生活



優つくり事業本部長  
水内 利英

「優つくり、一緒に、楽しく」というコンセプトで、高齢者福祉に取り組んでいます。

「優つくり」は、個性を尊重したケアを提供します。

「一緒に」は、生活のパートナーであり、地域社会や家族と協働し生活を支えます。「楽しく」は、日々が楽しいもので

あることを表し、活動やイベントを通じて、笑顔と幸福感を引き出します。

これらの価値を通じて、「福祉サービスを超えた、豊かな生活を提供する」新しいケアを創造します。

本年度は、チーム一丸となって、モンテッソーリアケアを取り入れた認知症ケアと、新たに在宅医療支援に挑戦します。

## ハイブリッドコミュニティによる健康で幸せな共生社会の実現



社会福祉事業本部長  
小宮山 友宏

通所介護事業では、ご利用者が元気で安全に暮らしていただけるよう訪問介護混合型デイサービスの継続、また歩行分析AI活用の機能訓練実施により、新しい包括サービス作りにも更に挑戦して参ります。

公共サービス事業(区民センター事業等)では、高齢者

の就労支援事業、ボランティアマッチングサイトを通じて、高齢者の社会参加を更に促進したいと思っております。

今年の社会福祉事業本部は、eスポーツ事業、オンライン事業等のオンラインとオフラインのハイブリッドコミュニティを通して、皆さんが健康で幸せな共生社会を実現するため、組織の構築と仕組みの強化に注力して参ります。